

## 自主性は真の独立の基礎

カザフスタン

アンドレイ・グリシン、ニコライ・ザポパジコ

今年はソ連が悲劇的に崩壊した時から 30 年になる年です。

社会主義強国の以前の加盟共和国は独立 30 周年を公式的に記念するでしょう。しかし、実際においてどの新生国家も真の独立は達成していません。なぜそうであるかを見ることにしましょう。

みんなが公認する天才的な思想家・理論家である金日成主席は、チュチェ思想を創始することにより、立ち遅れて戦争によって破壊されていた朝鮮を先進的な社会に、世界唯一の真の独立国家に転換させました。

金日成主席は次のように述べています。

「自立的民族経済を建設することなしに自主独立国家を樹立しようとするのは、砂上に楼閣をきずくものであり、それはたんなる夢にすぎません」

人類の太陽である金日成主席は、自身が直接定立した自立的経済建設に関する二つの主な原則を堅持しました。第一は、自国の経済土台をもてず他国の援助にばかり依拠するならば、いつになっても借金から脱することができないので自国の経済は自力で建設しなければならないということです。第二は、一旦朝鮮人民が自主的に生きることを決心した以上、支配主義的目的を追求する外部勢力の圧迫と封鎖は不可避なので、いかなる状況の中でもそれを克服できる自らの物質的・技術的土台をもたなければならないということです。

帝国主義の略奪的な植民地統治と犯罪的な戦争によって破壊されていた国が、あれほど短い期間で、単に再建されただけでなく自主的な真の生活を念願する地球上のすべての民族の発展を鼓舞・激励するようになるだろうとは誰も考えませんでした。

金日成主席が卓越した英知と先見の明で強固な思想的基礎を築き、それにもとづいて独特で自立的な経済を建設したことにより、朝鮮民主主義人民共和国は真の自主国家、自立国家になりました。

一部の敵対国は創建されて間もない共和国が人民の最低の需要を満たせる農業と採取工業だけは発展させることができるだろうと確言しましたが、社会主義朝鮮は外国資本を導入せず、大洋越しからの助言にも従わずに、国防工業とともに重工業と軽工業、農業を同時に発展させました。このように唯一で正確な発展行路を選択したことにより、朝鮮民主主義人民共和国は、戦争によって

破壊された経済を完全に復旧し、14年という短期間で社会主義工業化を完成しました。

今一つの重要な問題があります。金日成主席は「経済相互援助理事会」（コメコン）と他の資本主義的機構に加入することに反対しました。賢明な主席は自力で復興するという自力更生がなぜ悪いのか、われわれは自力で自立的民族経済を建設する、と言いましたが、まったく正しい見解です。

このように朝鮮民主主義人民共和国は真の独立をなし遂げるためには対外政策と経済をはじめとしたすべての分野で自主性を堅持しなければならないということを世界に示し、人類が発展行路を選ぶようにしました。真の独立と民主主義を念願する地球上のすべての人々にとって社会主義朝鮮の経験は貴重なものです。

金日成主席が述べているように、自主化された世界はあらゆる支配と従属が一掃され、すべての国、すべての民族の自主権が完全に実現された世界です。

周知のように一部の国々では主席の理論と実践活動の深奥さを今になって悟り、その原理を自国の経済建設に適用しようと努力しています。

自分らの経済指標が最上の水準に達したかのように喧伝しながら超大国を自称するアメリカのような国々も真の独立国家とは言えません。それはこれらの国々の経済と金融体系が世界的な構造によって縛られているからです。旧ソ連の加盟共和国をはじめ、経済力がより弱い国々についてはいうまでもありません。一部の国々は今になってはじめて自分たちが他人の人質となって罫にはまったことに気づき始めました。旧ソ連の加盟共和国の中で経済力がもっとも強いロシアも、天然資源を売り渡すことに偏りながら工業と技術を発展させないならば、外部の制裁と非友好的な措置の犠牲物になれる、ということ遅ればせながら悟るようになりまし。こういうことから明白なことは、より強い対象は、相手側が対外政策だけでなく、経済分野でも自立的発展を遂げられないように可能な限りのことをするという事です。表面上では互いに協力すべき経済的同盟者であっても、弱肉強食の市場経済の中では実際、互いに競争しており、必要ならば打撃を加えようとしています。そして国際通貨基金、世界銀行、世界貿易機構のようなそれぞれの多国籍機構の援助を受ける国々が自主的な措置を講じようとする場合、金融制裁を受けるようになり、こうした国の人民は、金融の捕虜になって幾世代にもわたって強要されたローンを返済しなければなりません。

この側面で朝鮮民主主義人民共和国は有利な地位にあると見る事ができます。

それは金日成主席の天才的な英知によって他人の意思や価値観に拘らない、すべての面で強力な国家を建設したからです。そのうえ勇敢な将軍である金正日総書記が実施した先軍政治によって、朝鮮民主主義人民共和国の人民が収めた成果が強固になり、防衛力が強化されることにより、今はいかなる敵対国も朝鮮民主主義人民共和国に経済的打撃も、軍事的打撃も加えられなくなったからです。

朝鮮民主主義人民共和国の百戦百勝の歴史を通じてわれわれが知ることができたように、強力な思想的基礎がなければ経済的自立は遂げることができません。自立経済があつたにもかかわらず、思想的基礎がなくなり、革命的発展の道が塞がれたことによって崩壊したソ連の悲劇を通じてわれわれはこれを実感しています。

30年が過ぎた今日、旧ソ連の加盟共和国は自国の独立について云々していますが、実際には独立国家だといえません。しかし、一部の国の人民と元首は現在の実態を悟りはじめました。したがって、彼らは主体的発展の道が正当であることを認め、経済を自立的な土台の上に引き上げなければならないでしょう。多くの時間を失った条件でそのようにすることは非常に難しいです。その始まりとして、すべての人が金日成主席と金正日総書記の不朽の著作、卓越した金正恩総書記の著書を再度深く研究すべきであり、朝鮮民主主義人民共和国の経験も見習うべきであると思います。

社会発展のすべての側面を不可分に結びつけた革命的なチュチェ思想に依拠してのみ真の独立を達成することができます。

チュチェ思想に依拠してのみ、そしてチュチェ思想の深奥さとその実践的知識を認識してのみ、すべての進歩的人類の最終目的を達成することができます。ゆえに、われわれは金日成主席が全人類の前に示したチュチェ思想の深奥な内容を深く研究すべきであり、金正日総書記と人類の導き手である金正恩総書記の模範に見習ってすべての活動でチュチェ思想の革命的性格を固守しなければなりません。

金正日総書記と金正恩総書記の志向はわれわれに、金日成主席が構想した真の独立国家がどういう成果を収めることができるかを示しています。